

科目責任者 東 恭一郎（薬学教育研究センター／生物化学）

■ 教育目的

生物体の成り立ちを実際に観察し、個体が器官系、器官、組織、細胞と階層的に構築され、さらに細胞が分子で構成されていることを理解する。実験に使用する器具の名称、取り扱いを理解し、試薬を調整できる。

■ 学習到達目標

1. 生物が細胞によって成り立っていることを理解する。
2. 動物の体の構造、器官、組織、細胞の構造を理解する。
3. 遺伝子の本体である DNA に触れ、遺伝子の働きについて考える。
4. 実験器具を正しく使い、試薬を調整する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：解剖学、基礎生物学の関連する講義内容を確認する。

復習：指定の日時までに実習レポートを提出する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	人体の構成	ヒトの身体の成り立ち	C7(1)-①-1～2
2	器官と器官系	主要臓器の観察Ⅰ	C7(1)-③-1～4
3	//	主要臓器の観察Ⅱ	C7(1)-④-1,2
4	組織と細胞	主要器官の組織および細胞の観察Ⅰ	C7(1)-③-1～4
5	//	主要器官の組織および細胞の観察Ⅱ	C7(1)-③-1～4
6	細胞を構成する物質と生体成分	遺伝子（DNA）の抽出	C6(2)-⑧-1
7	実験器具の取り扱い	ピペット、メスフラスコなど、実験器具の取り扱い	

■ 授業分担者

東 恭一郎、中舘 和彦、佐藤 光利、日堂 修、飯田 克巳

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席状況（60％）、およびレポートや試験成績等（40％）にもとづいて総合的に評価する。

■ 教科書

特に指定しない（必要に応じてプリントを配布）

■ 参考書

みえる人体 構造・機能・病態 The Human Body Book 佐藤達夫・松尾理監訳（南江堂）